

## 今週のメニュー

## ■トピックス

◇PVC Design Award 2015

ー東京・名古屋・大阪で、デザイナー向け説明会・交流会を開催ー

PVC Design Award 事務局

## ■随想

◇小笠原紀行（その2）ー小笠原と世界自然遺産ー

上智大学 地球環境学研究科 織 朱實

## ■編集後記

## ■トピックス

◇PVC Design Award 2015

ー東京・名古屋・大阪で、デザイナー向け説明会・交流会を開催ー

PVC Design Award 事務局

5回目を迎える「PVC Design Award 2015」のデザイン提案の募集が5月7日にスタートしました。テーマは「安心・安全・快適」です。

このアワードの開催に当たっては、第3回からデザイナーの方々へのアワード説明会を実施してきており、今年は募集開始に先立つ4月に、名古屋、大阪、東京の順に行いました。これまでより1月ほど早く実施した訳ですが、これには、デザイナーの方々にソフトPVCの素材とその加工方法、製品としての特徴を早く知っていただき、よりよい作品を

応募していただきたいこと、説明会にデザイン案を持って来ていただき、主催団体である素材メーカーや加工メーカー、商業会が製作の相談を受け、早期のコラボの機会を作る、という狙いがありました。



説明会（名古屋）

説明会のプログラムは、2部に分けて、下記の内容で行いました。

第1部：

1. ソフトPVCの製品、特長、機能、加工 について
2. アワードと素材紹介
3. 質疑応答

第2部：

デザイナーと主催団体との交流会

名古屋は4/22に国際デザインセンター、大阪は4/23にメビック扇町で、東京は4/27にVECが入居している新川の住友六甲ビルで開催しました。時間は、デザイナーの方が参加しやすい夕方6時から8時で実施しました。



説明会（大阪）



説明会（東京）

第一部ではアワード事務局が中心に、塩ビの特性を含むアワードの説明を行い、続いて、第二部のソフトPVCの見本を手にとりての交流会を行いました。会場には、これまでのアワードの受賞作品と、素材メーカーや商業会から提供いただいた今回のテーマに沿った100種以上のソフトPVCシート、レザー、製品、見本帳などを展示しました。



ソフトPVCシートや見本帳

3会場合わせてデザイナーの方々約50名に参加いただき、質疑応答では、コラボするなら誰にコンタクトすればいいのかなど質問が出されました。交流会では、素材を实际手にとって見ていただきました。3会場ともデザイナーの方々から素材についての質問を多く受け、また、デザイナーの方々が自分のデザインアイデアの製作についてその可能性や実際の加工方法等について熱心に質問・相談されている様子が見受けられ実りの多い説明会になりました。

説明会開催後、参加いただいたデザイナー関係の方々には、再度主催団体とのコラボによる作品の製作についてご提案させて頂いており、早くも希望される方数名から連絡を頂いております。

アワード募集要領は、[HPIに掲載](#)しております。今年のテーマ「安心・安全・快適」に沿った、多くのアイデアをお待ちしております。

## ■ 随想

### ◇小笠原紀行（その2）—小笠原と世界自然遺産—

上智大学 地球環境学研究所 織 朱實

小笠原を訪問すると、まず海の青さ、空の青さに圧倒されるのですが、よくよく見ると、小笠原にしかない固有種が植物、陸生貝類ともに多数存在していて、それを見つけ出す楽しみというのがあります。ぱっと目につきやすいのは、哺乳類なのですが、小笠原固有の

哺乳類は、小笠原コウモリだけです。この小笠原コウモリは、フルーツこもりで、普通のコウモリよりかなり大きく、子熊みたいな顔をしていてとてもかわいいのですが、マンゴやレモンの味を最近覚えて、あっという間に食べつくしてしまうという農家さん泣かせの困ったさんです。

小笠原コウモリ以外の哺乳類は、人間が後から持ち込んだもので、猫、ねずみ、ヤギ、豚等です。

これらが野生化して問題になっています（野ブタは駆逐済み）。野の猫が、希少生物のアカガシラカラスバト（通称赤ポッコ）を食べたり、クマネズミがマイマイを食べたり、固有種の生態系が脅かされています。哺乳類ではないのですが、外来種のグリーンアノールも、きれいな色をしているのですが、とんでもない食いしん坊で父島の固有種であった小笠原セミを食べつくしてしまい、父島は夏でも蝉の鳴かない島になってしまっています。



怪我して保護されているコウモリ、見た目は綺麗なグリーンアノール

こうした外来種の影響は、有人島だけでなく無人島にまで及んでいます。マイマイを食べつくすグリーンアノールやねずみの侵入対策のために、無人島に柵をはる地道な作業が続けられています。無人島なので、道がない、その道を作りながら炎天下の作業なので本当に大変だと思います（柵は、断崖にまで作られていて遠くから見ているとまるで「万里の長城」のようです）。

今回は、普段上陸できない兄島に、父島の宮之浦から船で渡りました。時間にして、5分くらい。距離は短いのですが、潮の流れが速いので泳いで渡ることはできません。ですので、ねずみは渡ることができないと考えられていたのですが、どうい方法かわからないのですが渡ってしまったのです（人と一緒に、船底に隠れて？台風の際に木にしがみついて？）。島民の方でも滅多に渡れない兄島で、ねずみに食べられたマイマイの殻や、まだ生息しているマイマイたちを探しながら、皆さんと保全のために何をすべきかなど、いろいろなお話をしました。文献だけでなく、やはり現場でマイマイの悲惨な状態を見られたこと、アノール柵など見られたことは私も含め、問題の緊迫性を改めて感じさせてくれました。

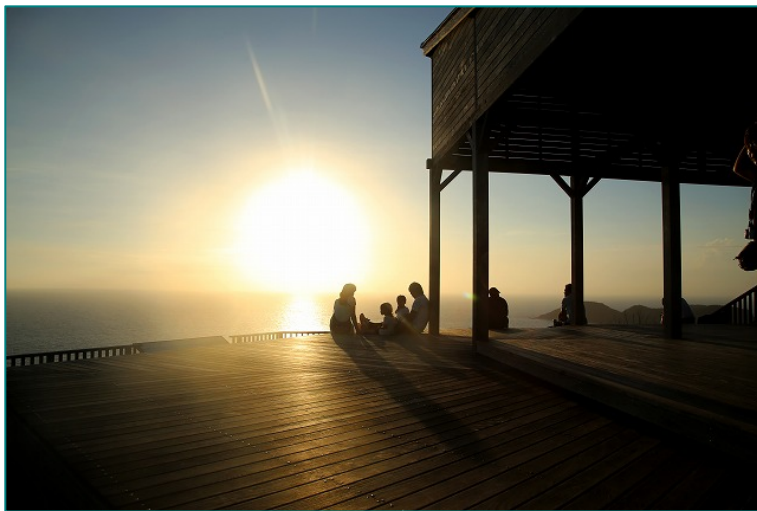


ねずみ等に食べられたマイマイの殻

ところで、小笠原豆知識ですが、小笠原から東京都内までの宅急便代はいくらだと思いますか？小笠原も、東京都とはいえ、船で25時間（沖縄の西表島より距離は近いものにかかる時間ははるかに違う）、送料がかかるだろうな、と思ったところなんと都内と同じ値段！650円から送れます。驚きました。そのせいでしょうか？小笠原では自給自足がなかなか難しく、父島の食品はほとんど小笠原丸が運んでくるものです。小笠原丸入港日には、島のみなさんがスーパーに走り込み、野菜、卵、牛乳等があつという間に売り切れます。特に、人気なのはパンです。父島から、さらに母島は遠いので、母島に移動している間に賞味期限が切れてしまうことも。なので、母島のお土産には、パンやコンビニスイーツが喜ばれるそうです（父島にはパン屋さんがありますが、母島にはパン屋さんがないので特に）。



アノール柵



写真は、父島のウェザーステーションからの夕焼けです。ウェザーステーションは、父島自慢のビュースポットで、ここからは運が良ければ鯨も見ることができます。夕日が落ちる瞬間に、グリーンフラッシュという現象もみられるということなのですが私は残念ながら、見るときはいつも下の方に雲がかかってしまい、完璧に(?)沈む夕日を見たことがありません。いつかは見てみたいものです。

でも、ここからみる星空も真っ暗なので本当にきれいです。母島は、父島よりさらに夜の電気がないので、星はもっともっとくっきり見えます。父島でも十分海は綺麗なのですが、母島はさらに人が少ないせいか、魚もうじゃうじゃ泳いでいるのが肉眼で見えます。母島の港にはねぶりさめが産卵のために訪れていて、普通にサメと一緒に泳ぐことができます。「おとなしいサメで、突ついたりこちらから仕掛けないと大丈夫ですよ」といわれていたものの、腰くらいの深さにうじゃついているサメの間を縫って泳ぐのは、どきどきでした。アジやイカも入れ食い状態で、役所の出張所は夕ご飯を自己調達するために、夕方埠頭でつりをしていたので、イカをおすそ分けしてもらいましたが、こりこりしていて本当においしかったです。



次回は、街の様子などをご紹介できればと思います。

⇒ [メルマガ・バックナンバー](#)

## ■ 編集後記

先月北陸新幹線で富山に行く機会があり、ほたるイカ、白えびを美味しく頂いてきました。これまで富山に行くには上越新幹線で越後湯沢からほくほく線に乗り換えて行くしかなかったのですが、電車1本で富山まで行けるようになって本当に便利になりました。

また、先週福井に行って来ましたが、東海道新幹線で米原から行ったため、時間もかかり結構不便でしたが、数年後には北陸新幹線1本で福井に行けるようになり、時間も今より40分短縮されるとのことで、とても便利になりそうです。開通したら、またおろしソバ、ソースカツ丼を食べに行くのを楽しみにしています。(鷹山)

## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 高橋 満

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)